

# LM1010 を用いた薬剤部での迅速なカフェイン測定体制構築による有用性の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026 年 10 月 13 日      ～      2030 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

LM1010 を用いた薬剤部での迅速なカフェイン測定体制構築による有用性の検討

## 〔研究目的〕

当院は、これまでカフェインの血中濃度が測定できませんでしたが、2022 年 4 月 1 日より LM1010 を用いた薬剤部での測定を行い、早期に測定結果をフィードバックする体制を構築しました。今回、これらの取り組みを用いたカフェイン血中濃度測定の有用性と問題点について検討します。

## 〔研究意義〕

カフェイン中毒は重症であれば血液透析が治療の選択肢となるため、早期の血中濃度評価を行うことで、適切な治療を選択する一助となります。

## 〔対象・研究方法〕

対象期間は 2022 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日とし、帝京大学医学部附属病院にカフェイン中毒で入院し、LM1010 を用いてカフェインの血中濃度測定を行った患者様とします。調査項目は年齢、体重、中毒起因物質、カフェインの濃度、血清カリウム、血圧、脈拍数、嘔吐の有無などを調査し、検討します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院薬剤部

## 〔個人情報の取り扱い〕

データは個人が特定できる情報を除外した形で登録されていますので個人が特定されることはありません。研究実施中は調査データを薬剤部内の所定の電子媒体内に保存します。収集したデータについては、「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に基づき、研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて 10 年保管の後に廃棄します。研究成果は、学会及び学術論文等で公表する予定です。その際、個人が特定できるような情報が開示されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。  
ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 今中翔一      職名 係長  
所属：帝京大学医学部附属病院薬剤部  
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1      TEL: 03-3964-1211（代表）